

生徒指導だより

第7号

令和7年4月23日発行
市川市立大洲中学校
生活指導担当

自転車事故の防止について

ニュースで観た人もいるかもしれませんが、先日、茨城県で自転車に乗っていた高校生が車と衝突して亡くなるという痛ましい事故が起きました。みなさんも自転車を利用する機会があるはずなので、こういうニュースを目にすると、「自分も気をつけないと」と思う人が多いのではないのでしょうか。

統計を見ると、自転車の事故の中で最も多いのは、「交差点での出会い頭の衝突」事故です。上に書かれている事故もそうだったようです。

みなさんは自転車の安全をテーマにしたホームページを見たことがありますか。その中にはさまざまな注意事項があるのですが、実体験から考えると、（特に左右の見通しが悪い場所では）一時停止をすることがとても大切だと感じます。また、1年間の中で最も自転車の事故が多いのは5月～6月なのだそうです。ぜひみなさんも、自分自身の自転車の利用の仕方について振り返りながら、ホームページをチェックしてみてください。

グレーでもいい

みなさんは二分割思考という言葉を知っていますか。

二分割思考というのは、ものごとを0か100、白か黒など、はっきりと二つに分けてしまう考え方のことをいいます。「相手との意見が食い違う→あいつは敵だ」、「完璧にできなければそれは失敗」みたいな考え方が例として挙げられます。みなさんの日常生活の中で考えてみると、「LINEの返信が来ない→自分は嫌われている」と思ってしまうみたいな場面が一つの例でしょうか。でも考えてみれば、「どんなことでも」、「どんな人でも」、「良い」時もあれば、「そうでない」時もあります。自分が忙しい時もあれば、誰かからの連絡を持っている時もあり、それは相手も同じ。自分の気持ちが沈んでいる時もあれば、誰かに楽しい気持ちを伝えたい時もあり、相手もそれは一緒です。いつも「白（100）」ではないし、いつも「黒（0）」というわけでもありません。

「グレー」ってあまり良い意味では使われない言葉ですが、人と関わる時、自分を見つめる時は、「そういうこともあるよね」、「大丈夫」と受け入れる気持ちが大切な時もあるような気がします。

5月になると、月末に体育祭があり、3年生はその前に修学旅行があります。その中で様々なことを決めていく（決めた）と思うのですが、そういう場面でもこの考え方になりがちです。「仲の良い子と同じクラスにならなかったし・・・」、「希望の種目に出られないのだったら・・・」、「思い通りの班にならなかったから・・・」、楽しみだったはずのものが急につまらないものに思えてしまう。でも実際そんなことはないですよ。そこで気持ちをゼロにしてしまわなければ、どんなところにも「楽しいこと」や「ためになること」があります。みなさんの先輩の中にも、「どうせ」と思わず、「どこかで」を信じて、今までにない楽しさを見つけた人がたくさんいます。

※休日に忘れ物をした時の学校への登校について

追加の説明です。休日に忘れ物を取りに来る時、保護者の方の同行が必要な小学校があるそうですが、中学校は生徒のみの登校で構いません。制服、自転車利用不可については生徒指導だより第6号に載せたとおりです。